

2020年8月7日

上場会社名 株式会社アルファ
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-----|------|------|----------------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第1四半期 | 10,704 | 29.7 | 234 | | 421 | | 494 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 15,225 | 7.9 | 631 | 0.3 | 653 | 10.1 | 433 | 8.0 |

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,616百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 488百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 51.78 | |
| 2020年3月期第1四半期 | 45.41 | |

(注) 2020年3月期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期第1四半期については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直し反映された後の金額によっております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第1四半期 | 54,955 | 24,514 | 42.7 | 2,454.02 |
| 2020年3月期 | 56,366 | 26,398 | 44.8 | 2,644.46 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,442百万円 2020年3月期 25,261百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | | 15.00 | | 25.00 | 40.00 |
| 2021年3月期 | | | | | |
| 2021年3月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、今後の業績や財務状況等を勘案したうえで判断いたしたく、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染拡大による影響度合いを未だ見通すことができず、今後の受注見通し等を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、開示しておりません。

今後、業績への影響を慎重に見極め、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2021年3月期1Q | 10,200,000 株 | 2020年3月期 | 10,200,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2021年3月期1Q | 647,478 株 | 2020年3月期 | 647,478 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2021年3月期1Q | 9,552,522 株 | 2020年3月期1Q | 9,552,522 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言が発令されるなど、経済活動が大きく停滞し極めて厳しい状況で推移しました。世界経済においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は大きく各地で都市封鎖が行われる等、経済活動が著しく制限され、個人消費は低迷し、企業収益や雇用情勢も悪化しました。アメリカ・ヨーロッパ・アジア等の各地域において景気が後退し、中国でも成長が鈍化する等、世界的に景気は急速に悪化しました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましても、国内外における自動車販売の減少や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により世界の各地域において一時的な生産休止が実施されました。また、セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅設備産業におきましても、住宅着工の延期・中止などがあり、新型コロナウイルス感染症の影響が出始めているところもあります。また、同じくセキュリティ機器事業の関連産業でありますレジャー産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための外出自粛の影響を強く受けている状況であります。

このような事業環境の中、当社グループは従業員・関係者の安全の確保、手許資金の流動性確保、固定費の削減を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は107億4百万円と前年同四半期に比べ、45億20百万円（△29.7%）の減収となりました。利益につきましては、営業損失は2億34百万円と前年同四半期に比べ、8億65百万円の減益（前年同四半期は6億31百万円の営業利益）となりました。経常損失は4億21百万円と前年同四半期に比べ、10億74百万円の減益（前年同四半期は6億53百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は4億94百万円と前年同四半期に比べ、9億28百万円の減益（前年同四半期は4億33百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の生産台数が減少したこと等により、売上高は10億85百万円と前年同四半期に比べ、11億65百万円（△51.8%）の減収、営業損失は2億63百万円（前年同四半期は営業損失82百万円）となりました。

自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の生産台数の減少等により、売上高は19億65百万円と前年同四半期に比べ、16億47百万円（△45.6%）の減収、営業利益は17百万円と前年同四半期に比べ、2億35百万円（△92.9%）の減益となりました。

自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、中国での新型コロナウイルス感染症拡大防止のための都市封鎖等の影響による生産台数の減少や、ASEAN地域での主要得意先の生産台数の減少等により売上高は31億32百万円と前年同四半期に比べ、16億77百万円（△34.9%）の減収、営業損失は15百万円と前年同四半期に比べ、2億91百万円の減益（前年同四半期は2億75百万円の営業利益）となりました。

自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）におきましては、主要得意先の生産台数減少の影響等により、売上高は27億92百万円と前年同四半期に比べ、2億79百万円（△9.1%）の減収、営業損失は49百万円（前年同四半期は営業損失7百万円）となりました。

セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛に伴う経済活動の制限により、売上高は20億43百万円と前年同四半期に比べ、2億23百万円（△9.9%）の減収、営業利益は1億89百万円と前年同四半期に比べ、1億27百万円（△40.2%）の減益となりました。

セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、売上高は10億91百万円と前年同四半期に比べ、40百万円（△3.6%）の減収、営業利益は87百万円と前年同四半期に比べ、4百万円（△5.4%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は549億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億11百万円減少となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、15億55百万円増加し、196億3百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が16億63百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が21億16百万円減少したこと等により、6億39百万円減少し、286億36百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の機械装置及び運搬具（純額）が5億55百万円減少したことや、無形固定資産のれんが1億14百万円減少したこと等により、7億70百万円減少し、263億3百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が1億5百万円減少したことや、賞与引当金が1億69百万円減少したこと等により、3億92百万円減少し、182億55百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が9億93百万円増加したことや、社債が50百万円減少したこと等により、8億65百万円増加し、121億85百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金が2億97百万円増加しましたが、利益剰余金が7億33百万円減少したことや、為替換算調整勘定が13億83百万円減少したことにより、18億83百万円減少し、245億14百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の44.8%から2.2ポイント減少し、42.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

当期の世界経済は、先進国を中心とした経済活動の再開が進みつつあることで、景気を持ち直しが期待されております。しかしながら、世界各地で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息しておらず、先行きについては依然として著しく不透明な状況が継続しております。

当社におきましても、主要需要先のひとつである自動車関連の受注は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、得意先の生産計画の変更・工場の操業予定が流動的であることから、見通しは依然として不透明な状況であります。従いまして、上半期及び通期の業績予想につきましては、国内外での新型コロナウイルス感染拡大による影響を適正かつ合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。今後開示が可能になった段階で速やかに公表いたします。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,375 | 10,039 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,429 | 9,312 |
| 商品及び製品 | 2,002 | 2,035 |
| 仕掛品 | 1,001 | 1,045 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,538 | 4,287 |
| その他 | 2,114 | 2,089 |
| 貸倒引当金 | △183 | △173 |
| 流動資産合計 | 29,276 | 28,636 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,560 | 4,202 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 6,845 | 6,290 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 2,510 | 2,544 |
| 土地 | 1,635 | 1,570 |
| その他(純額) | 4,364 | 4,393 |
| 有形固定資産合計 | 19,915 | 19,000 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,757 | 1,642 |
| その他 | 1,820 | 1,709 |
| 無形固定資産合計 | 3,577 | 3,352 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,912 | 3,329 |
| その他 | 666 | 620 |
| 投資その他の資産合計 | 3,579 | 3,950 |
| 固定資産合計 | 27,073 | 26,303 |
| 繰延資産 | 16 | 15 |
| 資産合計 | 56,366 | 54,955 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,089 | 5,470 |
| 短期借入金 | 7,139 | 7,913 |
| 未払法人税等 | 304 | 199 |
| 賞与引当金 | 461 | 292 |
| 製品保証引当金 | 341 | 340 |
| その他 | 4,310 | 4,039 |
| 流動負債合計 | 18,647 | 18,255 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,005 | 955 |
| 長期借入金 | 6,231 | 7,224 |
| 退職給付に係る負債 | 188 | 178 |
| 資産除去債務 | 42 | 42 |
| リース債務 | 2,377 | 2,292 |
| その他 | 1,476 | 1,492 |
| 固定負債合計 | 11,320 | 12,185 |
| 負債合計 | 29,968 | 30,440 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年 3 月31日) | 当第 1 四半期連結会計期間 (2020年 6 月30日) |
|---------------|---------------------------|----------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,760 | 2,760 |
| 資本剰余金 | 2,952 | 2,952 |
| 利益剰余金 | 17,948 | 17,215 |
| 自己株式 | △578 | △578 |
| 株主資本合計 | 23,082 | 22,349 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,364 | 1,662 |
| 為替換算調整勘定 | 814 | △569 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,178 | 1,092 |
| 非支配株主持分 | 1,137 | 1,072 |
| 純資産合計 | 26,398 | 24,514 |
| 負債純資産合計 | 56,366 | 54,955 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日） | 当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日） |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 15,225 | 10,704 |
| 売上原価 | 12,421 | 9,267 |
| 売上総利益 | 2,804 | 1,437 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,173 | 1,672 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 631 | △234 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 17 | 15 |
| 受取配当金 | 25 | 20 |
| 不動産賃貸料 | 5 | 4 |
| 助成金収入 | 15 | 22 |
| その他 | 20 | 60 |
| 営業外収益合計 | 83 | 124 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 46 | 61 |
| 為替差損 | 2 | 197 |
| その他 | 11 | 52 |
| 営業外費用合計 | 60 | 311 |
| 経常利益又は経常損失（△） | 653 | △421 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4 | 1 |
| 補助金収入 | — | 132 |
| 特別利益合計 | 4 | 133 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | 0 |
| 固定資産除却損 | 6 | 7 |
| 臨時損失 | — | 248 |
| 特別損失合計 | 7 | 256 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | 649 | △544 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 218 | 99 |
| 法人税等調整額 | △16 | △142 |
| 法人税等合計 | 201 | △43 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | 448 | △501 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△） | 14 | △6 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△） | 433 | △494 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第 1 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月 30 日) | 当第 1 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 6 月 30 日) |
|--------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失 (△) | 448 | △501 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △155 | 297 |
| 為替換算調整勘定 | 195 | △1,413 |
| その他の包括利益合計 | 40 | △1,115 |
| 四半期包括利益 | 488 | △1,616 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 457 | △1,580 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 30 | △36 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(1) 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

連結財務諸表作成会社及び一部の国内子会社は、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号2020年3月31日）を適用し、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、グループ通算制度への移行を創設した改正（令和2年法律第8号）を織り込む前の税法の規定に基づいております。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

臨時損失

当社グループの中国の連結子会社の一部及び自動車部品事業（日本）において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした各国政府等の要請に基づき、各拠点の操業停止を実施した期間及び操業時間を短縮した期間に該当する固定費部分を臨時損失として組替計上したものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動車 部品事業 (日本) | 自動車 部品事業 (北米) | 自動車 部品事業 (アジア) | 自動車 部品事業 (欧州) | セキュリテ ィ機器事業 (日本) | セキュリテ ィ機器事業 (海外) | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,558 | 3,559 | 4,635 | 2,970 | 2,261 | 240 | 15,225 | — | 15,225 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 693 | 53 | 173 | 100 | 5 | 891 | 1,918 | △1,918 | — |
| 計 | 2,251 | 3,612 | 4,809 | 3,071 | 2,266 | 1,131 | 17,144 | △1,918 | 15,225 |
| セグメント利益又は損失(△) | △82 | 253 | 275 | △7 | 316 | 92 | 848 | △217 | 631 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、「自動車部品事業（日本）」及び「セキュリティ機器（日本）」に配分していた当社の本社経費について、当社グループのグローバル化の進展に伴い、グループ全体の経営・管理活動を担うグローバル本社としての役割が増してきたことから、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------------------|------------------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 自動車 部品事業 (日本) | 自動車 部品事業 (北米) | 自動車 部品事業 (アジア) | 自動車 部品事業 (欧州) | セキュリテ ィ機器事業 (日本) | セキュリテ ィ機器事業 (海外) | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 805 | 1,923 | 2,955 | 2,716 | 2,037 | 266 | 10,704 | — | 10,704 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 280 | 41 | 176 | 75 | 6 | 825 | 1,405 | △1,405 | — |
| 計 | 1,085 | 1,965 | 3,132 | 2,792 | 2,043 | 1,091 | 12,110 | △1,405 | 10,704 |
| セグメント利益又は損失(△) | △263 | 17 | △15 | △49 | 189 | 87 | △33 | △200 | △234 |

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。